

## 1 目指す学校

教育 目標	日本国憲法と教育基本法の精神にのっとり、次の目標を掲げて教育を推進する。	清純	清純な心身を育て、実践力を豊かにする。
		友愛	友愛の精神を培い、個性を伸ばす。
		誠実	誠実な態度を養い、知性を高める。
スクール・ ミッション	「清純」「友愛」「誠実」を教育目標に掲げ、地域の期待に応え信頼される普通科高校として、地域との連携を深める学校づくりを推進します。多様性や異文化を理解・尊重する態度を養うとともに、自己を高め、生徒一人一人に応じた進路希望の実現を図り、知・徳・体の調和の取れた人材を育成します。		
この教育目標とスクール・ミッションを達成するために、次の3つのスクール・ポリシーで臨む。			
グラデュエーシ ョン・ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広い視野をもち、社会の変化に主体的に向き合い関わり合い、多様な価値観を尊重することができる。</li> <li>・自らの能力・特性を生かして地域社会に貢献し、自己の生き方についての考えを深めることができる。</li> </ul> このような「資質・能力」を育てます。		
カリキュラム ・ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善や個に応じた指導の充実をとおして、望ましい学習習慣を確立するとともに、学力の確かな定着を図る。</li> <li>・生徒一人一人の多様な進路選択を踏まえ、数多くの進路学習の機会やきめの細かい進路指導をとおして、個々の希望と適性に応じた進路実現を図る。</li> </ul> このような教育活動を展開します。		
アドミッション ・ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の授業を大事にし、自らすすんで学習に取り組み、家庭でも勉強をしっかりとできる生徒</li> <li>・将来の進路を真剣に考え、ワンランク上の目標を掲げ、その実現のために強い意志をもち、努力する生徒</li> <li>・部活動・生徒会活動・学校行事に積極的に参加し、入学後も継続して頑張る生徒</li> <li>・礼儀正しく、きちんとした身だしなみとルールを守り、地域や社会に貢献する行動力をもつ生徒</li> </ul> このような生徒を求めています。		

## 2 中期的目標とその達成に向けた方策

地域の期待に応える普通科高校として、生徒の進路希望を実現し、自己を高め、知・徳・体の調和の取れた人材を育成するために、以下の中期目標と方策を定める。

中期 目標	(1)	組織的に授業改善を推進し、わかる授業を展開して、生徒の基礎学力と発展的な学力の定着を図る。	
	(2)	基本的な生活習慣を確立し、礼儀と規律を尊重する態度を育成し、体力と健康の増進を図る。	
	(3)	3年間を見通した系統的な進路指導により、適性に応じた進路を見極めさせ、その進路を実現する。	
	(4)	組織的な学校運営を図り、校内組織を活性化させ、地域や近隣学校、関係機関との連携を推進する。	
方 策	①	校内施設の活用や課題などによる学習習慣の定着と家庭学習時間の増加	学習指導
	②	教育のDXにより学習指導の質の向上と学力向上の推進	学習指導
	③	組織的な教科主任中心の教科指導研修の計画的実施と授業力向上の推進	学習指導
	④	長期休業中の計画的な講習・補習による基礎力の定着と応用力の向上	学習指導
	⑤	興味・関心をもたせる実験・実習、ICT機器の活用など工夫した授業展開の推進	学習指導
	⑥	生活指導指針に基づく日常指導による規範意識の向上と基本的な生活習慣の確立	生活指導
	⑦	徹底した清掃活動や美化活動の推進と地域との連携による環境教育の推進	生活指導・特別活動
	⑧	安全指導、体力テストなど心身の健康作りのための組織的・計画的な取組	生活指導・健康作り
	⑨	学校行事をはじめ生徒会活動、委員会活動、部活動などの活性化の推進	生活指導・特別活動
	⑩	外部機関や保護者等と連携した進路指導の充実による進路意識の啓発	進路指導
	⑪	高大連携の推進と組織的な進路ガイダンスや進路面談による進学指導の充実	進路指導
	⑫	組織的な広報活動の充実と募集対策の工夫・充実	広報活動・募集活動
	⑬	学校運営連絡協議会の学校評価を活用した学校改善と特色ある教育活動の実践	学校運営
	⑭	組織的OJTの推進による人材育成と各分掌、各学年、各委員会等の活性化	学校運営
	⑮	経営企画室との連携推進と自律経営予算の有効活用の推進	学校運営

### 3 今年度における取組目標とその達成に向けた具体的方策

中期的目標達成に向けて、学習到達度や進路結果、部活動の成果などに対して高い目標を掲げ、その達成のために全ての教育活動を全力で取り組む。

#### (1) 重点目標と具体的方策

重点目標	(1)	進学希望者の学力向上
	(2)	英語4技能の力の伸長と国際交流の推進
	(3)	計画的な教科主任会を通じて、各教科主任を中心とした組織的な教科指導の充実
	(4)	生徒の進路意識の向上と進路実績の向上
	(5)	部活動の充実と家庭学習時間の確保
	(6)	「チャレンジ精神」と「相手を思いやる心」の育成
具体的方策	①	教育のDXを推進し、授業や考査問題の改善により、大学進学希望者の学力向上を図り、教科指導の質を向上させる。
	②	一人1台端末を活用し、週末などに学習課題などを課しながら、自ら学び進んで学習する習慣を確立させるとともに、時間を効果的に使う習慣を身に付けさせ家庭学習時間を増加させる。
	③	「英語教育研究推進校」として、英語の授業を生徒が英語を使う場とするために、授業改善を行う。また、GTECにより生徒の4技能別英語力を把握し、指導方法を改善するなど英語4技能の力の育成を図り、A2レベルを超える生徒が、1学年10%以上、2学年30%以上となるように取り組む。
	④	「海外学校間交流推進校」として、マレーシア、台湾、カナダ、フィリピン、横田基地内のハイスクール等との交流活動を推進する。
	⑤	月1回以上の教科主任会を実施し、教科で模試分析を行い授業改善に活かすなど、組織的な教科指導を行う。
	⑥	3年間を見通した面談計画を策定し、個別面談を充実させる。
	⑦	部活動の活動する時間や内容を工夫することで効率的な練習を進め、家庭での学習時間を確保する。学習と両立を進めながら東京都ベスト16以上又はそれに比肩する結果を目指す。
	⑧	生活指導指針に基づき、生活指導部と学年が連携して身だしなみ指導や遅刻欠席指導等を実施し、規範意識を育成するとともに基本的な生活習慣の確立を図る。
	⑨	いじめ・体罰を許さない校内の雰囲気や教職員・生徒・保護者で共有し、多様な価値観を認め合う指導を行う。
	⑩	生命を尊重する心の育成やSOSの出し方に関する教育などストレスへの対処方法を身に付けさせ、自殺予防を図る。
	⑪	体力テストや体育祭等の体育的行事を計画的に実施し、体力や健康に関する意識啓発を図り、一層の体力向上を目指す。
	⑫	計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底し、教職員一人ひとりのライフ・ワーク・バランスの実現を図る。また、年次有給休暇の計画的な取得を推進する。

#### (2) 数値目標

令和4年度の数値目標		R3年度	← 2年度	← H31年度	← 30年度	
①	生徒の授業満足度	90%以上	87%	← 76%	← 78%	← 73%
②	進路決定率	95%以上	93%	← 94%	← 84%	← 89%
③	4年制大学進学率	45%以上	45%	← 40%	← 35%	← 31%
④	GMARCH現役入学者数	2名以上	1名	← 0名	← 0名	← 2名
⑤	部活動加入率	85%以上	83%	← 82%	← 84%	← 84%
⑥	推薦入試倍率	3.0倍以上	2.9倍	← 2.8倍	← 3.6倍	← 3.0倍
⑦	一次学力入試倍率	1.3倍以上	1.2倍	← 1.2倍	← 1.3倍	← 1.3倍
⑧	学校説明会参加者数	1200名以上	1222名	← 1200名	← 1041名	← 1189名